

むつ市代官山公園コミュニティースペースに設置するテーブルベンチを製作しました

青森県立むつ高等技術専門校では、木造建築科で学ぶ知識・技能を活かし、地域の問題解決に協力する職業訓練に取り組んでおり、地域の方から木造建築物の現場製作及び補修工事の依頼があった場合、応用実習の一環として校内では体験できない木造建築物の現場製作及び補修工事を受託事業として実施しています。

現在、むつ市では、田名部まちなか地区都市再生整備計画に基づき、代官山公園と代官山Park-PFI事業の一体的整備が行われており、代官山公園の魅力と利便性の向上を図るために、株式会社むつ不動産取引センター様が、代官山公園の植栽やイメージに合わせた配色のトレーラハウスを設置し、周囲の景観形成を図り、恐山街道へのアクセスの良さを活かした「下北半島観光のスタート地点」と「田名部地区のにぎわい空間として整備しています。



事業コンセプト

代官山公園の植栽やイメージに合わせた配色のトレーラハウスを設置し景観形成を図り、恐山街道へのアクセスの良さを活かした「下北半島観光のスタート地点」と「田名部地区のにぎわい空間」として整備



今回、この事業の一環として、株式会社むつ不動産取引センター様から、代官山公園の一角に設けられる「コミュニティースペース」へ設置するテーブルベンチ6台の製作依頼があり、木造建築科の1年生が2年生と協力しながらテーブルベンチの製作に取り組みました。

テーブルベンチの部材の整形については、1年生の訓練生が2年生から加工方法や仕上げについて教わりながら作業をし、脚部の塗装作業も終わったので、担当職員から作成手順の説明を受けながら、テーブルベンチの組み立て作業に取り掛かりました。



公園に設置するテーブルベンチは、むつ市の木である「ひば」を材料とし、木のやさしさが人を迎えるコミュニティースペースとなるよう周囲の景観とも調和させ、触れる手にやさしく子どもも大人もくつろげる空間になるよう設計しました。また、脚部の部材は依頼者様からの提案で黒色に着色してほしいとの提案があり、部材を組んでみるとスタイリッシュなテーブルベンチとなりました。



部材を組んでいく過程で徐々にカタチになっていく様子を見て、訓練生たちの顔には達成感や達成感が溢れていました。製作に携わった訓練生から「公園に来た人が代官山公園の自然を感じながらくつろげるような場所になってほしいです」などの感想がありました。

今回の取組みは、依頼者の株式会社むつ不動産取引センター様と学校が連携することができたので「人と公園をつなぐ」活動を展開することができました。木造建築科の1年生と2年生は、この実習をとおしてコミュニケーションを深める絶好の機会となりました。訓練生のみなさんには、これからも「いい仕事をして」製作の機会を与えていただいた依頼者の方に感謝するとともに、より丁寧な作業を心掛けて欲しいと思います。